

配信元 公益財団法人東北活性化研究センター
<https://www.kasseiken.jp>
〒980-0021 仙台市青葉区中央2丁目9番10号
TEL:022-225-1426 FAX:022-225-0082

令和元年12月13日

**「論文アワード2019」における受賞について
～「地域活性化に向けた地域外人材の活用」が優秀賞を受賞～**

「地域活性化」に関し、地域に根差したシンクタンクならではの視点を活かした論文を募集する「論文アワード」（主催：地方シンクタンク協議会）において、当センター調査研究部主任研究員 伊藤孝子の論文が優秀賞を受賞いたしましたのでお知らせします。

同アワードは地方シンクタンク協議会会員相互の活動成果の発表・提言の発信を目的とし、2013年度より毎年開催されているものです。

今回受賞した論文は、全国的に注目が集まっている「地域おこし協力隊制度」について、東北圏における自治体の制度運用の現状や課題を整理し、同制度の効果的な活用方を自治体及び隊員へのアンケート調査や事例調査などを含めてまとめたもので、任期終了後の隊員の定住に着目した点や、具体的な活用方策、地域おこし協力隊を活かすノウハウが地域内の人材発掘やその育成にも役立つといったメッセージが高く評価されました。

なお、本論文は2018年度調査研究事業「移住促進政策の現状と課題—地域おこし協力隊制度の可能性と活用促進に向けて—」をもとに作成されており、当該内容を含む2018年度の当センターの研究成果につきましては当センターホームページで公開しております。

当センターでは、今回の受賞を励みとして、今後とも地域の皆様と連携・協働しながら実践に直結したシンクタンクとして積極的に取り組んでまいります。

以上

【添付資料】

論文アワードならびに受賞論文の概要などについて

本件に関するお問い合わせ先

公益財団法人東北活性化研究センター 調査研究部 伊藤

TEL:022-222-3394 FAX:022-222-3395 E-mail:itou@kasseiken.jp

論文アワードの概要

(1) 主催・目的

地方シンクタンク協議会は、地域に根ざした課題の調査研究や提言活動に携わる全国 57 の地方シンクタンクが、相互の交流を深めることにより、地域における政策研究の質的向上をはかり、地域の自立発展に寄与することを目的にフォーラムや研究会などを開催している。

同アワードは地方シンクタンク協議会会員の活動成果の発信のため 2013 年度より毎年実施している。

(2) 審査内容

地域ブロック幹事・特別賛助会員からなる選考委員会において審査され、最優秀賞、優秀賞が決定される。

表彰式の様子



応募内容について

(1) 論文タイトル

地域活性化に向けた地域外人材の活用～東北圏における地域おこし協力隊調査から～

<<http://www.think-t.gr.jp/award2019.html>>

(2) 作成者

調査研究部 主任研究員 伊藤孝子

(3) 内容

今回受賞した論文は、2018 年度調査研究事業「移住促進政策の現状と課題」報告書を再構成したもので、全国的に注目が集まっている「地域おこし協力隊制度」について、東北圏における自治体の制度運用の現状や課題を整理し、同制度の効果的な活用方を自治体及び隊員へのアンケート調査や事例調査などを含めてまとめたものである。

活用方策として、隊員の定住に至る意思決定のプロセスとその各段階における課題を整理し、その課題解決と定住促進に向けて、①任期終了後に結びつく事業性の高い活動内容の設計、②多様な主体が関わるネットワークの構築および拡充、の 2 つを提案してしている。

事業性の高いテーマの設計では、地域資源や地域課題など複数のテーマの組み合わせや活動エリアの広域化などによる継続性の向上、高度人材の活躍には自治体独自の予算措置によってスキルに見合った報酬や自由度の高い活動資金の提供といった、より具体的な考察を盛り込んだ。また、ネットワークを実質的に機能させるため自治体のパートナーとして地域主導でまちづくりを担う組織などの設立を構想していくことも有効とした。